



有限会社 吉田工業

vol.15

2024年3月15日発行





建設部 建設部長

## ISHIKAWA TATSUHIKO 石河 達彦

2023年の春から建設部長を務める石河達彦さんは、20代前半の頃から有限会社吉田工業で働いてきました。社長をはじめとする上司の面々を、「高い技術力を持ったスーパージョブ」だと語り、吉田工業で働くことに誇りを持つ石河さん。今回は、日々のやりがいや、後輩たちを育てるための石河さんなりの指導法を伺いました。

### この道一筋で

### 20年近くを

### 過ごしてきた

### 石河さんにとって、

### 仕事における

### やりがいとは

### 何でしょうか。

私がメインで手がけているのは建設工事で、足場の組み立てや機械の据えつけ、配管に溶接と、ありとあらゆる作業に携わりま

す。建設工事が無いときには工場の機械を点検して回り、必要に応じてメンテナンスを行うのも業務のひとつです。私はこれまで多くの現場に参加してきましたが、そのたびに実感するのは吉田工業の技術力の高さや知識量の多さ。どこの現場、どこの人たちと一緒に仕事をして、「吉田工業はすごいな」と思われるようなものを常に提供していると感じます。長年にわたり、この会社で学んできたことや培ってきた経験は、私自身の大きな自信にもつながっています。

特に機械工の仕事というのは、技術を習得するまでに何年もの月日を要します。扱うのは、普通の人だったらほとんど触れる機会のない、非常に精密な機械。定期点検におけるメンテナンスでは、その機械をすべて分解してきれいにした後、再び組み立てる作業を行います。それが最初から

最後までうまくいったときの達成感、たまらないものがありますね。

## 部長になってから

1年ほどが経ちますが、

## 心境の変化は

ありましたか。

任せられる仕事が多くなり、そのことによって自分自身の意欲がこれまで以上に増しました。以前は「現場で仕事をしてこそ」という思いがありましたが、今は現場以外の業務、たとえばパソコン業務や現場の人員の割り振りなどにもやりがいを感じています。

何にでも前向きに取り組む姿勢は、吉田工業の社風による影響が大きいと思います。社長、常務、専務。私が教わってきた人たちは皆、「やらない」「できない」とは絶対に言いません。できないこと

があれば、「どうしたらできるよくなるのか」をまず考えるのです。昔からそのスタイルで仕事をしてきていて、何事にもガンガンの姿勢で取り組む、まさに「スーパージーン」です。

## 後輩を育成するうえで、

心がけている点を

教えてください。

作業をする際に、前までは方法を指示していたところを、最近ではまず「どうする？」と聞くようにしています。経験が浅いと、どうしても意見を言い出しにくいことがあるでしょう。私自身がそうで、特に新人の頃は作業方法を頭に思い浮かべていても、実際に口に出すのを遠慮してしまっていました。こちらから声をかければ後輩たちも意見を言いやすくなりますし、何よりも自分で考え

て実行することが、やりがいにつながるかと考えています。

仕事の方法というのは1つだけではありません。私が指示を出してしまうとその方法が正解になってしまいうので、できるだけ後輩のやり方を尊重したいという思いがあります。そのうえで、あとから「こういう方法もあるよ」と提示し、何通りかのパターンを覚えてもらうようにしています。

## 吉田工業の

さらなる発展のために、

意識していることは

ありますか。

元受け会社から依頼をもらって成り立つのが私たちの商売ですから、まずはお客様からの信頼を得なければ、何事もはじまりません。「吉田工業はダメだな」と思われたら、そこで終わり。その

うえで、信頼を得るために大前提なのが、ミスのない仕事の提供です。現場での的確な判断や効率性が、ミスをなくすことにつながるかと考えています。

この数年の間に、新入社員が増えてきたという吉田工業。自身の知識や技術を惜しみなく伝え、次の世代を育てることが10年後、20年後の未来につながるのだと石河さんは語ります。さらなるスーパージーンを目指し、この先も走り続けていくに違いありません。

## 企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

# 石河さんってどんな人？



その方を一言で表すと？

尊敬する上司

石河さんの「すごいところ」を教えてください！

出来ないことが無いんじゃないかって思えるほど、どんな作業でも出来るところ！

建設工事部  
機械課 主任  
むらやま ひろと

村山 紘斗さん

感謝や激励のメッセージをお願いします！

色々なことを教えてください、ありがとうございます。まだまだ石河さんには程遠いですが早く追いつける様に頑張ります。目標にしています！また現場が一緒になったときにはよろしくお願いします。

思い出エピソードを教えてください！

自分がミスしたときや悩んでいるときにいつも尻拭いをしてくれたり、アドバイスをくれたりしていただきました。仕事が終われば、よくご飯や呑みに連れて行ってくださっており、たくさんの思い出があります！

その方を一言で表すと？

穏やかな心の持ち主

石河さんの「すごいところ」を教えてください！

凄く力持ちで、何でも軽々と運ぶところを見てすごいと思いました！また、どんな仕事も手を抜かない姿を見て日々かっこいいと思っています。

思い出エピソードを教えてください！

会社で溶接練習を見てもらったとき、ふざけながらもしっかり教えていただけるとても嬉しかったことを覚えています！



建設工事部  
機械課

とみやま しゅらと

富山 珠羅人さん

感謝や激励のメッセージをお願いします！

これからも色々教えていただけると嬉しいです！よろしくお願いします。

活躍社員として日々奮闘されている石河さん。親交の深い2名の方に思い出や魅力をお願いしました！

# 社長通信



代表取締役  
社長

よしだ ただかつ  
吉田 忠克

## ～ 2024年 ビッグプロジェクト～

vol.  
2

新規を含め大手企業から多くの発注を頂いているのは、「無事故で完璧な工事をしてくれる」という信頼があるからこそ。2024年も、若手を育成しつつ、誇れる実績を残しましょう!

## 現在注力しているプロジェクト

### ✓ 原発施設の特重工事 3 件

#### 2027年の稼働に向けた 原子力発電 3 施設の施工

2023～2024年に、茨城県東海村、宮城県女川、新潟県柏崎の各原子力発電所の工事を受注しました。今回当社が担当するのは、特別重要施設の工事、通称「特重工事」。具体的には、緊急電源と、緊急の事態に対応できる設備を整備することを目的とした工事です。

現在政府は、核燃料の廃棄物処理への不安を払拭するために、青森県の六ヶ所村の再処理センターの再稼働に本腰を入れています。それは、原子力発電を2027年に再稼働させるためです。そのため、いずれの施設も、2026年12月までに、国が定めた基準を満たす設備を完成させなければなりません。それまでの間は、バイオマス関連の工事と並行して、これらの大規模な現場に全力を尽くしたいと考えています。

### ✓ プロジェクト始動の経緯

2024年4月に始まる茨城県東海村の施設の工事は、2023年11月に受注しました。発注者は、以前現場を共にしたことのある企業です。当社の、原子力発電関係の工事の実績とマンパワーを見込んで任せていただきました。

### ✓ 会社にとってのメリット

原子力発電所施設関係のノウハウが活かされます。また、比較的時間に余裕を持って取り組める現場なので、若手の育成にも適しています。タービンとは全く違う工事なので、新しい技術を身につけられるはず。ちなみに、放射線の管理区域外のため被爆の心配はありません。

### ✓ 進捗状況

2023年に着工する東海村の施設については2024年2月現在、図面の作成や打ち合わせを進めています。それが完成した後、柏崎、続いて女川の順に着工を予定しています。どの現場も、ほぼ全員の60名くらいを投入することになるでしょう。

## 社員の皆さんへのお願い

この現場で、据付工事の基本的な手順を学んでほしいと思います! 原子力施設の場合、施工要領図を作成し、その通りに施工する必要があります。万が一図面に誤りがあれば、作成し直してから再度施工するしかありません。緊張感を持ちながら、作業していきましょう!

# 入社1年目の 現在地

未経験から入社し、1年目を迎える上野さん。入社からどのような現場を経験し、学びを得てきたのでしょうか？気持ちがラクになった先輩からの言葉、今後の意気込みを語ってもらいました。

## 入社してから担当した現場



1. 秋田・大曲にあるバイオマス発電所建設
2. 勿来火力発電所タービンメンテナンス
3. 勿来火力IGCC配管材管理
4. 栃木クリーンプラザ磁選機の取り替え
5. 栃木クリーンプラザ水管手入れ
6. 秋田・大曲にあるゴミ処理場分水管手入れ

人数は現場によって異なり、2～10人です。

最初の現場では部品の検品を担当し、途中から復水器の建て方を手伝いました。

2024年1月末以降は、事務所に隣接する倉庫でサポート材を作っています。



工事部工事一課

うえのたいが

**上野大河**さん



## □最も学びになったこと

### 「現場の基本がわかってきた」



初めて経験する職種でしたので、最初の現場が一番印象に残っています。現場の雰囲気や作業の進め方などを、なんとなく理解できました。その後の現場を経験するにつれて、スパナ、溶接機、グラインダーなど次であろう道具がわかるようになってきました。どの現場も基本は同じでしたが、似たような仕事でも場所によって作業工程が逆だったこともあるというのが、新たな発見です。

## □ 特にお世話になった先輩

社長です！ロープの結び方など教えてもらいました。



## □ 先輩からの参考になったアドバイス

### 気持ちがラクになった 「焦らなくていいよ」



色々な方から「焦らなくていいよ」と言われたことが、気持ちの面で非常に助かりました。先輩たちがテキパキ動くので、ついていかねばと焦っていたのが、周囲の方からすると危なっかしく見えたのかもしれません。

## 今後の目標



## スピードアップ、 資格取得が目下の目標

全体的にもう少し早く作業できるようになりたいと思います。そのために必要なのは、作業の理解度を深めること。もっと積極的に先輩たちへアドバイスを聞きに行くことで、理解度が深まり技術力が上がると思います。先輩たちと親密になったほうがアドバイスを聞きにいきやすいと思うので、コミュニケーション能力もアップしたいところです。

また、資格を持っていないので、今後はどんどん取得に挑戦していきたいと考えています。7月には放射線取扱主任者を受験しに行く予定。テキストを使用して勉強を開始しています。将来的には、社長くらいテキパキ仕事ができるかっていい社員になることが目標です！

